

ヒントカード

ヒントカードは、リレー作文が続かなくなったときの「処方箋」として、用意しておいたもの。

「どうしても作文が続かないときに、参考にしてください」と投げかけて、封筒に入れたカードをグループに持たせておいた。ヒントカードの中には、子どもたちに使ってほしい技法も含まれている。

音を表す言葉を
使ってみよう

「 」かぎかっこを使って、
会話文のように書いてみよう

「そのとき」と書いてから、
続きを考えてみよう

ほかのものに、目を向けて書いて
みよう

様子を表す言葉を
使ってみよう

「だから」ということばから
始めてみよう。

前の文に書いてあることを
詳しくしてみよう

ベンチの性格を
考えてみよう

用意していたのは、この8種類だが、リレー作文を書いている時に、使った子は一人もいなかった。

ヒントカードを見て考えるよりも、仲間からのアドバイスを受けたり、友達の文章をリアルタイムで読んでいることの方が、遙かに役に立ったということである。